



複笑い

fukuwarai

リーダー

佐々木 恵汰 Sasaki Keita 滝谷 和希 Takiya Kazuki 田中 秀道 Tanaka Hidemichi 丹羽 宏輔 Niwa Kosuke 林 泰希 Hayashi Taiki

担当教員

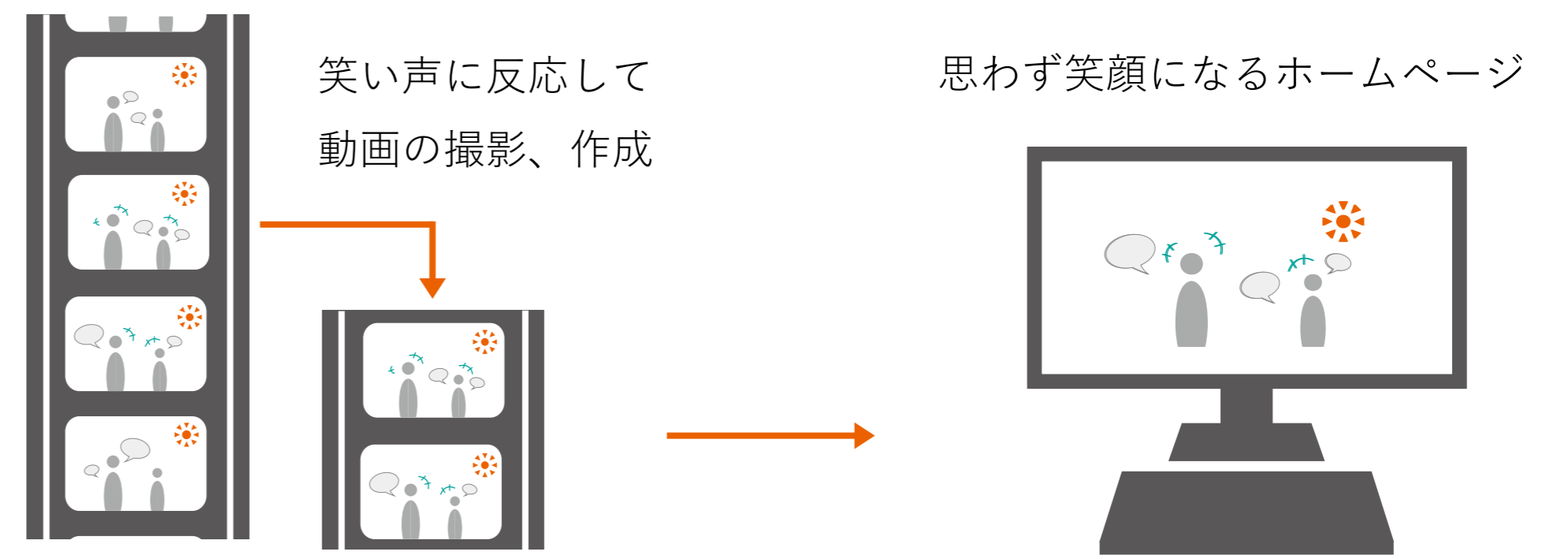
岡本 誠 Okamoto Makoto 佐藤 直行 Satou Naoyuki 伊藤 精英 Itou Kiyohide 竹川 佳成 Takegawa Yoshinari 安井 重哉 Yasui Shigeoya

背景 | ネガティブな反芻



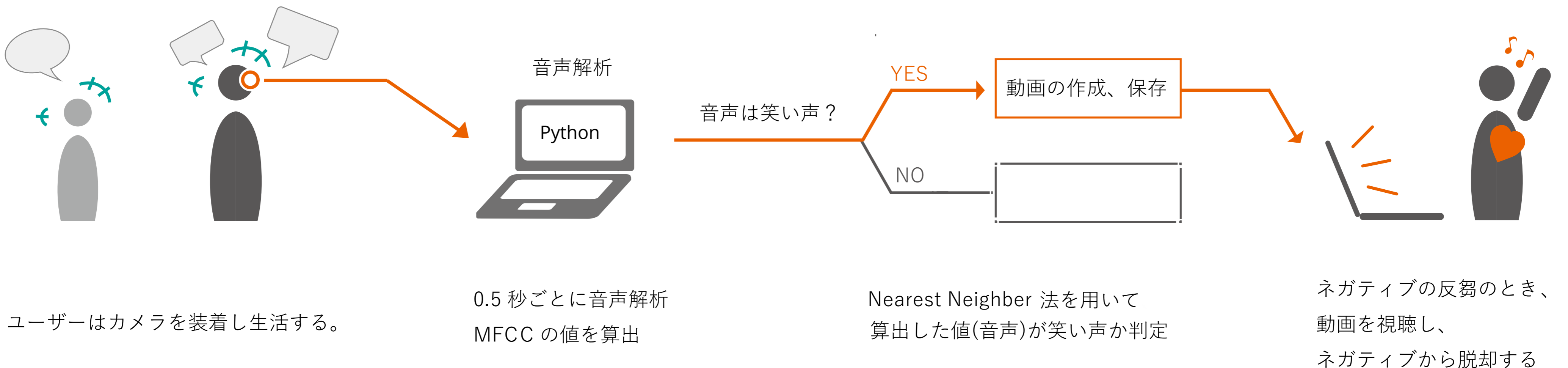
日々の生活で、ポジティブなことネガティブのことが起きている。しかし、人はネガティブなことを思い出しがちである。このように「否定的・嫌悪的な事柄を長い間、何度も繰り返し考え続ける」(伊藤・上里, 2001) を「ネガティブの反芻」という。そこでネガティブの反芻を抜けどす手助けを行うデバイスを考えた。

提案 | ポジティブの記憶に再構築する



人がポジティブになるためには良い出来事を思い出させるとよいと考えた。そこで、何気なく過ごしていると忘れがちな小さな幸せから、楽しかった思い出まで自動で動画に保存するデバイスを制作した。我々は良い出来事の定義を「笑っているとき」とした。この動画を提供することで人はポジティブになるのではないかと考察する。

仕組み |



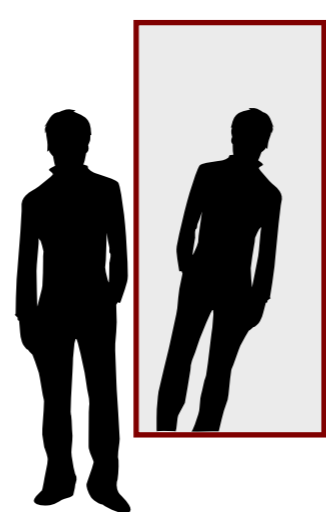
今後の展望 |

1. 記憶の再構成



ある程度保持されている記憶は古くから再構成されることはしてきされている (Bartlett, 1932; Loftus, 1982)。また近年では体験したことの無いものまでもが想起されることが明らかになっている (Loftus, 1997; 高橋, 1997)。

2. 自己知覚



自己知覚は記憶より行われる。ベム (Bem, D., 1967) によれば自己に対する知覚も他社に対して同様に、過去の行動の記憶から知覚することがある。よって記憶を再構成することで、自己に対する知覚も変化するのではないだろうか。

1. 全体的な小型化



PCとカメラを接続しなければならず、日常生活での使用が難しいため小型の必要性がある。

2. 笑い声判定の精度上げ



笑い声判定の精度が完璧ではないので、今後精度を上げる必要がある。